

八幡小学校の稲刈体験が

行われました

稲が黄金色に色付き、実りの季節を迎えた9月18日(木)、
 蘭島(あらぎ島)において八幡小学校3・4年生11名に
 よる稲刈り体験が行われました。

蘭島を訪れた子ども達は、田植えの後、毎日の水管理や
 真夏の草刈りなど、地権者やあらぎ島景観保全保存会によ
 る管理のおかげで立派に稲が成長したことや、稲刈り作業
 において実った稲を1本1本大事にすることなど、自然の
 恵みや協力いただいている皆さまへ感謝することを学びま
 した。

次にJA職員による作
 業の説明を聞いた後、今
 では主流となっている機械
 刈りに挑戦しました。当
 初は慣れない機械操作に
 とまどっていた子ども達
 も、JA職員のサポート
 もあり、なんとか機械の
 操作を体験することがで



きました。その後、

子ども達は成長した
 稲を手に、ぎこちな
 い手つきで稲刈りを
 始めました。子ども
 達は、有田中央高校
 清水分校の生徒も一
 緒になって作業を補
 助してくれたことも
 あり、次第に慣れた
 手つきで楽しく作業
 を進めることができ、
 「機械の方がやりや
 すかったけど、手で
 刈の方が楽しかった」
 などの感想が聞かれ
 ました。

農作業に携わる機
 会が少なくなる中、
 小学校で行われる体
 験は、単なる学習で
 はなく、地域に対す
 る関心を高め、愛着
 を感じることももつ
 ながるなど、貴重な
 機会であると考えら
 れます。

